

(別紙)

**「山梨の文化的テロワール（山梨らしさ）」整理・可視化業務委託
提案書審査基準**

- ①審査委員は、「1. 評価項目等」について、「2. 評価の基準」に従って評価を行い、各項目の点数を合計したものを審査点（100点満点）とする。
- ②提案書に評価項目に該当する記載がない場合は0点とする。
- ③各審査委員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、同位の提案が複数ある場合は、審査委員の多数決により順位を決定する。

1. 評価項目等

評価項目、評価の視点及び配点は、次のとおりとする。

評価項目		評価の視点	配点	加重倍率	評価点
業務遂行能力	経営状況	① ・会社規模、財務状況、業務実績等から、提案された内容の実現が可能と判断できるか。	5	1	5
	業務の実施体制	② ・組織体制や人員、専門的知識を有する者の配置など、業務を実施する上での体制が十分確保されているか。	5	2	10
	業務実施のスケジュール	③ ・確実に業務遂行が可能なスケジュールとなっているか。	5	2	10
企画提案内容	企画全体設計	④ ・本委託事業の目的を十分理解した提案になっているか。 ・仕様書に示した業務水準に加えて、新たな視点や業務目的をより効果的に達成し得る提案等がなされているか。	5	2	10
	初期案の検証	⑤ ・関係資料の収集・分析が体系的かつ網羅的に行われる提案になっているか。 ・有識者・地域関係者へのヒアリングが計画的に実施され、対象者の選定理由が明確か。 ・センター実施のワークショップ結果を適切に分析し、初期案の検証に活用する内容になっているか。 ・地域資源の現地調査が必要に応じて組み込まれており、調査方法が明示されているか。	5	2	10
	体系化・加筆修正	⑥ ・地域資源の分類・整理や、テロワールの構成要素の定義と相互関係の整理の手法が具体的に示され、実現可能な内容になっているか。 ・初期案への加筆・修正が、(1)の検証結果を反映する内容になっているか。	5	4	20

(別紙)

			<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップの開催計画(回数・対象者・目的)が具体的で、実現可能性が高いか。 ・加筆・修正のプロセスが示され、成果物の質向上に寄与する提案となっているか。 			
	「文化的テロワール整理・可視化資料」の作成	⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の構成が視覚的にわかりやすく、画像などの要素が効果的に活用される内容になっているか。 ・資料の作成において「山梨らしさ」を伝える魅力的な内容になるよう具体的な手法が提案されているか。 ・デジタル化を前提とした構成が具体的に示されているか。 	5	4	20
	成果物の発表	⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・発表方法が具体的に示されているか。 ・報道機関と連携する方法が示されているか。 ・発表の場や対象者が明確で、成果物の波及効果が期待できるか。 	5	1	5
	価格	⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・最も低い費用の提案者を10点とし、以下の計算式で点数を計算する。 点数 = 10 × 最低価格 / 見積価格 (小数点以下四捨五入) 	5	2	10

【審査点 合計100点】

2. 評価の基準

特に優れている／特に期待できる	5点
優れている／期待できる	4点
標準的である	3点
やや劣る／あまり期待できない	2点
劣る／期待できない	1点
要求基準を満たしていない	0点